

# 謹賀新年

新年あけましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、夢と希望に満ちあふれた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、日頃より市政へのご理解とご協力をいただき深く感謝申し上げます。

昨年も新型コロナウイルス感染症の影響を受けた一年となりました。4月下旬からワクチンの接種が進み、第5波の流行以後は新規感染者も減少傾向に転じました。各地で人の動きが徐々に活発化し、鳥羽市内におきましても、10月頃から市内各地で少しずつ様々な行事や催しが行われました。市民の皆様には、日常の生活など様々な場面でご無理をお願いいたしましたでしたが、ご理解、ご協力をいただき感謝申し上げます。

また、コロナ禍にあつて、本市出身の山田優選手が東京2020オリンピックフエンシング・エペ団体において、見事金メダルを獲得されたことは、市民の皆様にとつてもとりわけ明るく、希望にあふれるビッグニュースであつたかと思えます。

さて、令和3年4月から二期目のスタートと同時に、*「誰もがキラめく鳥羽 海の恵みがつなぐ鳥羽」*を目標とした第6次鳥羽市総合計画に基づくとまちづくりがスタートいたしました。今、全国的に少子高齢化や人口減少などの社会課題が山積しています。私はこのような社会

の変化や課題から

目を背けずに真正面から取り組む所存です。20年後に子どもたちが暮らせる、暮らしたいまちづくりを進めることが目標です。引き続き先を見据えた行財政運営に取り組み、海のシリコンバレー構想の実現を図ってまいります。

新型コロナウイルス感染症対策についても、昨年に引き続き、ワクチン接種をはじめとする市民生活の安全・安心はもちろんのこと、地域経済の回復に向けた取り組みを支援するため、フェーズや将来の展望も見据えた事業の実施に努めてまいります。

現在、3回目のワクチン接種に向け準備を進めておりますが、まだまだ予断をゆるさない状況に変わりはありません。マスクの適切な着用、こまめな換気、手洗いに努めていただき、引き続き感染予防の徹底をお願いいたします。

本年が市民の皆様にとりまして、幸多き一年となりますよう心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。



鳥羽市長  
中村 欣一郎

新年、明けましておめでとうございます。

年頭にあたり、鳥羽市議会を代表して、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

市民の皆様におかれましては、新しい年を健やかに迎えられたことと、お慶び申し上げます。

日頃は、市議会の活動に対し、ご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年一昨年から続く新型コロナウイルス感染症が変異を起し、新たな脅威が世界各国に拡大、流行し、私も日本においても従来株よりも重症化の危険性が高いデルタ株が流行し、感染防止のための様々な対策へのご協力と我慢を強いられる1年となりました。

そのような中で始まったワクチン接種に対する市民の皆様のご理解とご協力により、当市の12歳以上のワクチン接種率は、90%を超えており、日本全体の接種率の向上と相まって、感染者減少につながったのではと思うところです。

しかしながら、12月初めに日本でも確認されたオミクロン株が未知数であり、デルタ株よりも強い感染力を有していることから警戒を解いてはいけない状況となっています。

長引く新型コロナウイルスの影響により低迷する観光業や水産業への支援や安心できる市民生活のために、

市の執行部や県、国等に対し、提言・要望を重ね、コロナ禍における市議会のあるべき姿を追求してまいりました。

また現在、議会の最高規範である鳥羽市議会基本条例や議員の政治倫理の意識向上及び確立のための鳥羽市議会議員政治倫理条例の改正等にも取り組み、議会として信頼を回復しなければならぬと考えております。

皆様方のご意見に真摯に耳を傾け、それらの声を届けるための全議員による『オール鳥羽市議会』の実現に努めてまいります。より身近で頼りになる議会となるよう、その役割を十分に理解し、果たしてまいりたいと思っておりますので、ご理解とご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

本年が新型コロナウイルス感染症被害の終息年となり、安心して市民生活が営まれるよう、また市民の皆様にとって、希望に満ち溢れた最良の年となることを心よりお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

鳥羽市議会議長

木下 順一